

科目名	進路研究演習 1 Career Challenge Navigation 1						
科目担当者	法学部教員						
単位数	4	配当年次	1年	授業形態	演習	開講学期	通年
履修学部・学科 [区分]	法学部・法律学科 [専門教育科目 演習]				ディプロマポリシーとの関連	(2)(5)	
授業の概要	<p>1年次では大学への円滑な移行とキャリア計画に基づいた大学生活の設計を行うため、まず導入教育と自己理解促進プログラムを実施する。続いて啓発的なプログラム（講話・フィールドワーク等）を通して社会観・職業観の醸成を図るとともに、研究発表やグループワーク等によりコミュニケーションやプレゼンテーションのための基礎的能力の獲得を目指す。</p> <p>また、フィールドワーク等の学外活動を通じて協調性や学生相互及び教員との人間関係構築を図る。</p>						
授業の到達目標	<p>学生の各年次段階に応じたキャリア発達を支援し、自己のキャリアを形成していくために必要な知識・情報、意欲・態度そして能力の育成を目的とする。</p> <p>具体的な目標としては、</p> <p>① 社会観・職業観の醸成、</p> <p>② キャリア設計能力の育成、</p> <p>③ 職業能力（基礎能力）の養成。</p>						
授業計画・内容	1	シンポジウム	16	社会と職業 (1) 事前研究			
	2	年間スケジュール説明/GW(1)/キャンパスツアー	17	社会と職業 (2) フィールドワーク			
	3	グループワーク (2) 「私の価値観」	18	社会と職業 (3) 事後研究			
	4	適性検査 (GPS-Academic)	19	社会と職業 (4) 発表資料の作成			
	5	外部講師講演 (宮崎市長)	20	社会と職業 (5) 発表資料の作成・発表の練習			
	6	講義の受け方 (1) 概要	21	社会と職業 (6) 大学祭での研究成果発表会			
	7	講義の受け方 (2) 実習	22	人権啓発講和			
	8	外部講師講演② OB会	23	卒業生パネルディスカッション			
	9	個別指導 (1) (適性検査の振り返り)	24	インターンシップ体験発表会			
	10	個別指導 (2) 自己分析 (過去から)	25	夏季レポート発表会 (1) レジюме成方法			
	11	外部講師講演② 「交通安全と薬物乱用防止教育」	26	夏季レポート発表会 (2) 発表			
	12	クリティカル・リーディング① 正確に読む	27	夏季レポート発表会 (3) 発表			
	13	クリティカル・リーディング② 批判的に読む	28	専門演習 I 説明会			
	14	夏季レポート作成指導 (1) (研究倫理教育を含む)	29	グループワーク (3) 「謎の絵」			
	15	夏季レポート作成指導 (2)	30	1年間を振り返って、個別指導 (2)、アンケート			
授業外学修 (事前学修)	各自担当の研究発表のための資料収集・分析および原稿作成。 夏季課題レポート作成と発表のためのレジюме作成。(通年で60時間程度)						
授業外学修 (事後学修)	課題によっては授業内で完結するものではないので、その後の学生生活で引き続き取り組み・実践することが求められる。(通年で60時間程度)						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	授業態度 (課題への取組姿勢等) 毎時の内容に積極的・意欲的に取り組み、キャリア形成の能力を高めたか。 研究発表の成果 チームで「社会と職業」の調査研究を行い、プレゼンテーションができたか。				70%	①②③	
				30%	①②③		
成績評価基準	秀：(評点90点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：(評点80点～89点) 到達目標を高い水準で達成している場合 良：(評点70点～79点) 到達目標を一定の水準で達成している場合 可：(評点60点～69点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：(評点60点未満) 到達目標に達していない場合						
教科書	なし						
参考文献	なし						
その他							